

米国で変異型インフルエンザ A 型(H3N2v)が流行

2012年8月3日 CDC 情報

8月3日現在、2011年7月以降、米国で報告された変異型インフルエンザ A 型(H3N2v)に感染した患者数は、ハワイ州1名、インディアナ州7名、アイオワ州3名、オハイオ州10名、メイン州2名、ペンシルバニア州3名、ユタ州1名、ウエスト・バージニア州2名で合計29名になります。このうち23名は、発症前にブタとの接触が報告されました。19名はブタがいる農業フェアに参加していました。ほとんどの患者は、発熱、咳、鼻水、咽頭痛、筋肉痛といったインフルエンザ様症状を呈し、3名が入院しました。全員完全に回復しました。

【注意事項】

- ・ 動物との接触前後では、手を石鹸と流水でよく洗って下さい。
- ・ 動物がいるところでは、決して食べたり、飲んだり、物を口に入れないで下さい。また、動物がいるところに食べ物や飲み物は持ち込まないで下さい。
- ・ 幼児、妊婦、65才以上の高齢者、および免疫力が低下している方は、動物の近くにいる場合、十分注意が必要です。
- ・ あなたがブタなどの動物を飼っている場合、その動物が病気になっていないか注意して下さい。病気が疑われたら、獣医に連絡して下さい。
- ・ 病気が疑われるもしくは病気になった動物との接触は避けて下さい。
- ・ あなたがインフルエンザ様症状を呈しているならば、ブタとの接触を避けて下さい。
- ・ あなたが病氣中にブタと接触しなければならない場合、または感染したもしくは、感染が疑われるブタに接触しなければならない場合、適切な防護方法(例えば、防護服、手袋、口と鼻を覆う防護マスク、その他の個人用保護器材)で、呼吸器及び手指の衛生管理を行わなければなりません。

【H3N2v ウイルス感染患者についての情報】

1. 5才未満の子供、65才以上の高齢者、妊婦、特定の慢性疾患(喘息、糖尿病、心臓病、免疫力低下、神経障害および神経発達障害等)のある人々は、インフルエンザに感染すると重篤な合併症を引き起こす危険性が高い。これらの人々は、この夏、特に病氣のブタが確認されたら、ブタやブタ小屋へ近づかないで下さい。
2. CDCの研究によると、10才未満の子供にはH3N2v ウイルスの免疫がほとんどありませんが、大人には何らかの交差防御免疫がある可能性があります。今回H3N2v ウイルスに感染したのは、ほとんどが子供でした。
3. FDAが承認しているH3N2v ウイルス感染に効果が期待できる治療薬が2種類あります。抗ウイルス剤のオセルタミビル(タミフル)とザナミビル(リレンザ)です。これらは、季節性インフルエンザウイルスの治療薬として使用されます。発症後にできるだけ早期に服用すると効果的です。
4. H3N2v ウイルス感染の徴候と症状は、季節性インフルエンザを含む他の呼吸器感染症と違いはありません。
5. インフルエンザ迅速診断テストでは、ヒトの検体についてH3N2v ウイルスを検出できないことがあります。もし最近ブタやブタと接触した病人と接触したことからH3N2v ウイルス感染が疑われる場合は、州保健局で痰などを検査して下さい。
6. 適切に処理されたブタ肉やブタ由来の製品を食べてもインフルエンザウイルスには感染しません。